

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
21	NPO法人千葉盲ろう者友の会	教育について、盲ろう児に対しての教育のあり方も計画してほしい。内容については全国盲ろう者協会とも協議してほしい。		特別支援教育課	療育支援		
55	千葉県知的障害者福祉協会	○県障害児入所施設の入所待機児童の解消について、障害児の虐待が増加している中で県事業団「養育園」の定員削減も含め、障害児入所施設の待機児童が増加しています。そのため、県内の定員数での入所数の確保が困難で東京都のベットを割愛している状況が進んでいます。千葉県内の障害児入所施設の適正な施設数、定員数、地域立地等支援体制の整備計画を緊急に見直していただきたい。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
56	千葉県知的障害者福祉協会	○地域小規模児童施設等の創設の推進について、障害児入所施設においても地域小規模児童養護の敷地内外のタイプを導入し、身近な地域でより家庭的な擁護体制を整備するように、千葉県としても検討し、国の制度化に向けて検討していただきたい。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
57	千葉県知的障害者福祉協会	○行政責任における施設移行及び地域移行の推進について、平成24年児童福祉法改正により障害児入所施設の満20歳以上の在所延長規定の廃止に伴い、満18歳、特に特別支援学校高等部卒業に合わせて障害児入所施設を退所し、障害福祉サービスの利用、障害者支援施設への移行等が完了する措置を講じていただきたい。実施機関が都道府県から市町村への移管に伴う事務引継ぎマニュアルが示された地域移行連絡調整会議等により切れ目のない支援体制の確立を図っていただきたい。特に、千葉県においては障害者支援施設等の定員不足が深刻化しているため、定員増、新設等の整備を検討していただきたい。平成30年度には障害児の移行数が多くなるので対応を検討する必要がある。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実、ライフサポートファイルの導入や一層の活用について、市町村に働きかけるとともに、事業の実施状況や効果についても検証をおこなう。	障害福祉事業課 療育支援班 事業支援班	入所・地域 療育支援		○
58	千葉県知的障害者福祉協会	○施設ケアと医療機関等の支援体制の構築について、施設での処遇困難に対する児童精神医療において、診断、経過観察、精神薬の処方等において一定期間の入院治療を要する場合の医療機関等に支援体制を整備していただきたい。特に支援現場において早急な対応が必要と思われる児童については施設ケアと連動して対応する体制の構築を図っていただきたい。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化、医療的ニーズの高い障害のある子どもを支援するホームヘルパーの養成を進める	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
59	千葉県知的障害者福祉協会	○児童相談所に持ち込まれた案件に対して、福祉の支援より先に医療ケアが必要であるが福祉の支援と決定されるケースが増加している。児童相談所において適切な判断ができる心理専門職の配置などが必要と考える。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
60	千葉県知的障害者福祉協会	○発達障害児の支援について、児童相談所で福祉の支援が必要と判断され、医療ケアを経ないで年齢を重ねていく子どもの支援が困難になっていく事例が増加していると認識している。発達障害に関しては、基礎治療が重要であるがその部分のケアが行われていない。この状況が精神障害に繋がるケースが多く発生している。 ○発達障害に起因する要支援の子が、強度行動障害ということで福祉の支援が必要とされるケースが多く、何でも強度行動障害という結果に結びつけられる傾向がある。必要な支援を十分検討し、試み、改善が見られない場合は強度行動障害とする経過が必要。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(4)障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実②幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校と保健・医療などの関係機関との連携の充実を図るとともに、不適応の個別ケースについて、児童発達支援センターや発達障害者支援センター(CAS)と連携して解決を図ります。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
62	千葉県知的障害者福祉協会	○障害児療育等支援事業について、障害児相談支援の実施推移に留意しつつ、これまでの実績及びニーズを評価していただき、継続事業として予算の確保をお願いしたい。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(3)地域における相談支援体制の充実	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
67	千葉県特別支援学校PTA連合会	○障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実について、一人一人のニーズに応じた教育を推進していくために、教職員の指導力を高め、高い専門性を有する人材育成・研修等をより一層深められるような取り組みを期待します。 また、児童生徒の増加に伴う教室不足の解消及びスクールバス降車時間が短縮されることを期待します。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、放課後等デイサービスについて機能の充実を図るとともに、事業の拡充を図ります。	障害福祉事業課 療育支援班 特別支援教育課	療育支援		○
68	千葉県特別支援学校PTA連合会	放課後等デイサービス事業所数の増加に伴い受入体制は整備されているが今後は支援等の質の確保が懸念される。何らかのガイドラインが出来ることを望みます。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、放課後等デイサービスについて機能の充実を図るとともに、事業の拡充を図ります。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
84	千葉県特別支援学校長会	○父親を対象とした『障害のある子どもの子育て支援・生活支援』的な内容の講習会やミーティングのような場の機会の創設	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
85	千葉県特別支援学校長会	○放課後等デイサービス事業所・学校・福祉行政による『連絡協議会』的な機会の創設。		障害福祉事業課 療育支援班 教育庁特別支援教育課	療育支援		
86	千葉県特別支援学校長会	○重度心身障害児及びその保護者・関係者が集い&情報交換し合える『コミュニティー』的な場所の創設。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付があるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
87	千葉県特別支援学校 長会	○医療・教育・福祉行政の連携充実のための『連絡協議会』的な機会の設置。県が具体的な取り組みを示して市町村にも取り組みを広めてほしい。		障害者福祉推進課 共生社会推進室 障害福祉事業課 療育支援班 特別支援教育課	○療育支援 ○入所・地域		○
91	千葉県特別支援学校 長会	○医療的ケア児の進路先の確保及び拡大への方策について、今後も、障害者自身や家族の生の声を聴いて計画にいかして欲しい。	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
92	千葉県特別支援学校 長会	○障害のある人（読み手）の立場からすると、「障害のある人の教育」という項目が抜け落ちており、タテ割り行政による計画の不合理さが生じてしまっているように感じる。新たに項目立てをして、子どもの学齢期における福祉サービス、教育と福祉の連携の推進などを施策として取り上げることに期待したい。		障害福祉事業課 療育支援班 特別支援教育課	療育支援		○
93	千葉県特別支援学校 長会	強度行動障害のあり子など手厚い支援が必要な子については、入所施設支援が必要。しかし、定員に空きがなく青森県の施設等他県施設に行かざるを得ない状況がある。入所施設での支援が必要な子に対しても提供できるサービスを確保してほしい。	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5) 障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のある子どもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援のあり方について検討します。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
125	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立 支援事業協会	○総論として、計画達成のための具体的な促進策を明記する計画とすること。また、就労継続支援事業A型や放課後等デイサービスのようにあり方が問題視されている事業については、設置を抑制する方策も検討する必要があります。 ○これまでの計画で効果が期待できない施策または不要な施策については、廃止することも必要です。		障害者福祉推進課 共生社会推進室（計画） 障害福祉事業課 事業支援班、 療育支援班	精神障害者 入所・地域 療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
150	千葉県自閉症協会	○(総論)改正発達障害者支援法の目的・理念を達成できる施策を提示してください。発達障害者支援法の改正で強調されるのは「切れ目のない支援」「共生社会の実現」「個人の選択による社会的参加機会の確保」「社会的障壁の除去」などであり、発達障害者支援センター、発達障害者地域支援協議会を活用し、連携による相談支援、教育の個別指導、情報共有を進め、就労、権利擁護、司法での配慮とさらに家族への支援を行うものであります。そのための専門的知識を持つ人材の確保に努めなければなりません。以上の発達障害者支援法で定められたことを千葉県の責務として、実現させるべく計画を策定してください。以下は一部であります。○発達障害者地域支援マネージャーを配置してください。すでに31都府県で配置済みです。(厚労省施策) ○発達障害者の地域生活支援事業を実施してください。発達障害者の地域での困りごと・トラブルに対する適切な対応を行う支援手法が必要です。(厚労省施策)	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実、児童発達支援センターがCASと連携し、研修を実施します。7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉事業課 療育支援班 地域生活支援班	療育支援 入所・地域		○
154	千葉県自閉症協会	○県内各自治体が、発達障害の専門家や医療機関と連携して自閉症・発達障害の可能性のある子どもの診断・療育に繋げ、その経過を保健師が必ずフォローする体制を整えてください。(厚労省施策・巡回専門支援員整備事業など)	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
155	千葉県自閉症協会	○発達障害児の利用する放課後等デイサービスにおける支援の専門性が確保されるよう指導・研修を実施してください。(日本自閉症協会要望)	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
156	千葉県自閉症協会	○平成30年に学校教育法施行規則の改正があり、高等学校で障害に応じた特別の教育課程にすることができるようになるそうですが、県立高校において自閉症の生徒に対応できる指導体制を構築してください(文科省規則改正)。		障害福祉事業課 療育支援班 教育庁特別支援教育課	療育支援		
157	千葉県自閉症協会	○小中高の自閉症・発達障害の可能性の可能性がある児童生徒の支援にあたって、学校と放課後等デイサービスの連携体制づくり事業を実施し、放課後等福祉連携調整員を配置してください。(文科省施策・放課後等福祉連支援事業)		障害福祉事業課 療育支援班 特別支援教育課	療育支援		
159	千葉県自閉症協会	○強度行動障害は自閉症の人に対して、適切な支援がされない結果生じるものであり、自閉症の早期発見、ケアを行うことが大切である。1才、3才、5才児の検診を受ける人はその際に把握され得る。検診の結果何等かの支援が必要と思われる子に係る情報は関係機関へ伝達し支援していく仕組みが必要である。		児童家庭課	療育支援		○

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
160	千葉県自閉症協会	○強度行動障害のある人に関する支援について、現計画に記載されているが自閉症児者に対する施策について計画に位置付けることが必要である。本来は強度行動障害に陥る前の予防が重要である。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
162	千葉県自閉症協会w illクラブ（高機能自閉症）	○スクールソーシャルワーカーを適切に配置し、福祉へのアクセスを容易にしてください。			療育支援		
163	千葉県自閉症協会w illクラブ（高機能自閉症）	○和的障害の目立たない自閉症の高機能群の方達の中には、自分の障害に気づいていない。自分に利用できる障害福祉サービスがあることを知らない人たちがたくさんいます。これらの人たちと保護者になるべく早く支援につながれるよう、福祉の側からのアウトリーチを十分に行ってください。その場合には学校だけではなく、放課後児童育成事業等、学校以外の発達障害のたある人たちにとって問題の表れやすい場面も視野に入れてください。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		
165	千葉県重症心身障害児（者）を守る会	○全県的な調査による人数の把握、第五次計画では千葉県では全県的な調査ができていないことがはっきりしたので、第六次計画では、市町村に問い合わせるなどして何人いるか明らかにしていただきたいです。実態を把握したうえで必要な施策に取り組む必要があります。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実（1）障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実、②必要とされる支援の在り方について検討を行います。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
166	千葉県重症心身障害児（者）を守る会	○「入所施設」「医療」「通園」「短期入所」の整備について、人口当たりの入所ベッド数は、全国平均の半分にとどまり、全国下から3～4番目に留まっています。その分在宅の重症心身障害児者がたくさんいるのですが、在宅を続けるために必要な「医療」「通園」「短期入所」について、その数は足りていません。入所施設は、千葉市・四街道市・旭市・柏市にあるのみで、房総半島にはありませんし、人口の多い東葛南部地域にはありません。このままでよいのでしょうか？通院や短期入所で障害の重い重症心身障害児者を遠くまで連れていくことは、本人にとっても家族にとっても大変な負担で、利用をあきらめざるを得ません。入所施設も地域で暮らし続けるための「医療」「通園」「短期入所」も足りていません。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実（2）障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化。①短期入所事業所の拡充、在宅支援の環境整備に努めます。②訪問看護など在宅生活を支える訪問系サービスの充実等市町村に働きかけます。（5）障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、③施設支援の充実を図ります。	障害福祉事業課 事業支援班 療育支援班	療育支援		
168	千葉県重症心身障害児（者）を守る会	○就学における配慮について、学齢期は全員就学で、どこかの学校に籍はありますが、「スクールバスに乗せてもらえない」「親の付き添いが通学の条件にされる」など、他の障害児にはありえません。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、（4）障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実	教育庁特別支援教育課	療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
169	千葉県重症心身障害児(者)を守る会	○重症心身障害児者は、その特性から「児者一貫」でなければ命は守られません。けいれん・運動・知能の障害など脳、神経に異常のある子が安心して診てもらえるのは小児神経の医師です。もともと小児神経のお医者さんは少ない上に、最近では大人の年齢になると診てもらえず、成人科の医療に引き継げる体制がないまま転科させられる事態もあります。いつまでも小児科で診てもらうのがいいのかと言えばそうとも言えません。重症心身障害者も高齢化に伴い、小児科領域外の癌などの成人病にかかり、緩和ケアが必要となることもあります。重症心身障害者も苦痛なく尊厳をもって生を全うできる医療体制を整えていただきたいと思います。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、①国のモデル事業である小児等在宅医療連携拠点事業(平成25、26年度実施)の成果を活かし、医療、保健、福祉、教育の分野で小児等の在宅支援に関わる人材の育成、医療資源の充実、関係者のネットワークの構築を進めます。 ③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のある子どもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
171	千葉県重症心身障害児(者)を守る会	重症心身障害児者を支援するための人材が不足しています。例えば看護学校のカリキュラムに組み込むなど具体的な取り組みが必要です。		障害福祉事業課 療育支援班 医療整備課	○療育支援		
172	千葉県重症心身障害児(者)を守る会	医療的ケアが必要な障害児者の支援は、家族への負担もに大きく、行政の支援には予算的な制限等あることとは思うが取り組むべき施策を十分精査し、必要な予算を確保してほしい。		障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
174	千葉県重症心身障害 連絡協議会	【国立病院機構下志津病院】 平成28年6月3日 公布の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」「児童福祉法第56条の6第2項」に関する厚生労働省医政局長等の通知にもありますように、医療技術の進歩等を背景として、NICU等に長期間入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な障害児（医療的ケア児）が増加しています。このような医療的ケア児が在宅生活を継続していこうとする場合、その心身の状況に応じて、保健、医療及び障害福祉だけでなく、保育、教育等における支援も重要であり、また、当事者及びその保護者等が安心して必要な支援を受けるためには、関係行政機関や関係する事業所等が「利用者目線」で緊密に連携して対応することが求められています。千葉県の行政におかれましても、医療・福祉・教育等の各分野を統合した政策のより一層の推進を期待します。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、（5）障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、①国のモデル事業である小児等在宅医療連携拠点事業（平成25、26年度実施）の成果を活かし、医療、保健、福祉、教育の分野で小児等の在宅支援に関わる人材の育成、医療資源の充実、関係者のネットワークの構築を進めます。 ③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のある子どもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援		○
175	千葉県重症心身障害 連絡協議会	自治体（千葉県・政令市・中核市・市町村）と当事者（医療的ケア児・重症心身障害児者）・保護者、入所施設、通所施設、高次機能病院・中核病院、在宅療養支援診療所・訪問看護ステーション、福祉サービス事業所、教育機関等の連携を推進するための協議会の設置を要望します。 医療的ケア児が利用できる福祉サービスは、千葉県全体でも量的に不足していますが、千葉県では特に地域偏在が顕著です。まずは、各医療福祉圏域における医療的ケア児と重症心身障害児者の実態、医療的ケアを必要とする医療的ケア児・重症心身障害児者が利用できる福祉サービスの実態に関する調査を要望します。さらに、人工呼吸器などの高度な医療的ケアが必要な小児のレスパイト入院ができる施設・医療機関の不足と地域偏在が顕著です。このことに関する各医療福祉圏域での実態調査を要望するとともに、高度な医療的ケアが必要な小児のレスパイト入院ができる施設・医療機関を増やすための政策の推進を要望します。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、（5）障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、①国のモデル事業である小児等在宅医療連携拠点事業（平成25、26年度実施）の成果を活かし、医療、保健、福祉、教育の分野で小児等の在宅支援に関わる人材の育成、医療資源の充実、関係者のネットワークの構築を進めます。 ③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のある子どもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。	障害福祉事業課 療育支援班	療育支援 入所・地域		○
176	千葉県重症心身障害 連絡協議会	【国立病院機構千葉東病院】 ○施策番号4-（2）、7-（3）について、医療的ケアを有する知的障害児・者の短期入所先は少なく、必要とする方が利用できないことがあります。短期入所実施施設に看護師を配置するなどの対応を求めます。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、（2）障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化、7障害のある一人ひとりに着目した支援の充実	障害福祉事業課 事業支援班	療育支援 入所・地域		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
179	千葉県重症心身障害 連絡協議会	【千葉県桜木園】 ○医療ケアが必要な重症心身障害児者が通所利用できる事業所を増やして欲しい。生活介護、放課後等デイサービス、児童発達支援など新しい事業所を増やすだけでなく、既存の事業所で受入が出来るように加算や医療職の人員配置など検討して欲しい。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、①国のモデル事業である小児等在宅医療連携拠点事業(平成25、26年度実施)の成果を活かし、医療、保健、福祉、教育の分野で小児等の在宅支援に関わる人材の育成、医療資源の充実、関係者のネットワークの構築を進めます。 ③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のある子どもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。	障害福祉事業 療育支援班	療育支援		
180	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○医療ケアが必要な重度の重症心身障害児者が利用できる在宅支援サービスを充実して欲しい。訪問看護、在宅看護、相談支援事業所、短期入所など交流研修の機会を増やしたり各研修会の中で重症心身障害に関する内容を充実していく。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、①国のモデル事業である小児等在宅医療連携拠点事業(平成25、26年度実施)の成果を活かし、医療、保健、福祉、教育の分野で小児等の在宅支援に関わる人材の育成、医療資源の充実、関係者のネットワークの構築を進めます。	障害福祉事業 課 地域生活支援 班 療育支援班	療育支援		○
181	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○重症心身障害の施設に勤務する看護師などの人材育成、看護師の中でも重症心身障害児者を知らない方が多い。なかなか施設や事業所での看護師の確保が難しい状況がある。人材確保や重症心身障害の看護の充実のために育成の段階からかわることが必要ではないかと考えます。看護学校のカリキュラムの中に重症心身障害看護を組み込む。看護実習に重症心身障害施設も入れていく。福祉施設での看護のあり方の講義を充実させていく。	8その他各視点から取組むべき事項、 (1)人材の確保、定着、④医師、看護職員の人材の確保について、養给力の強化、県内就業への誘導、離職防止、再就職の促進を推進していきます。	障害者福祉推進課 共生社会推進室 障害福祉事業課 療育支援班 医療整備課	入所・地域 療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	<p>第六次計画位置付の視点</p> <p>①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。</p> <p>②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。</p> <p>③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。</p> <p>④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。</p> <p>①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。</p> <p>(右欄に○を付ける。)</p>	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
182	千葉県重症心身障害 連絡協議会	次の障害者計画を考えるにあたっては、東葛と同じように人口密集地域である葛南にも同様の施設が必要と思われますし、房総の地域には、核になる施設とサテライト的な訪問ができる広域的な事業展開が必要になると考えます。横浜・川崎などでは、重症心身障害の短期入所について独自の加算があると聞いています。このような財政的支援が導入されると、事業運営がしやすくなりベッド数の確保に役立つと思われます。P68 II-③「重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のあるこどもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。		○療育支援		
183	千葉県重症心身障害 連絡協議会	医療的ケアの必要な障害児の在宅支援には、施設だけでは不十分で、医療機関によるレスパイト受入れが必須です。医療保険事業の日中一時支援事業などの普及をさらに進める必要があると考えます。 また、重症心身障害ではない医療ケアを必要とする障害児の受け皿がない状態です。こども検討課題とするべきと考えます。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実		○療育支援 ○入所・地域		
184	千葉県重症心身障害 連絡協議会	【千葉県リハビリテーションセンター愛育園】 ○県内重症児者施設の増床について 4ー(5) 重症児者施設の人口1万人あたりのベッド数は全国平均1.59に対して千葉県は約0.9と、光陽園開設後も全国平均を大きく下回っています。 平成28年11月現在、県内の重症児者施設6施設に対して重症児42名、重症者45名の計87名が入所待機をしているが、そのなかで23名が呼吸器を使用しており、超重症が24名、準超重症が25名で合わせて49名で待機者の56%が濃厚な医療的ケアを必要としています。医療の進歩に伴い千葉県でもNICUは満床状態であり、ここ数年の医療的ケアの濃厚な重症児の急激な増加と、待機している在宅重症者家族の高齢化を考えると、千葉県の重症児者の入所機能が破たんするのは時間の問題です。県内の重症児者施設の偏在を勘案すると、例えば市川・船橋など葛南地区に1か所、房総に1か所の新規施設の開設を検討していただきたい。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のあるこどもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。	障害福祉事業課 療育支援班 事業支援班	療育支援		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付があるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
185	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○重症児施設のベッド数の少なさは、短期入所受入数の少なさにも繋がり、重症児者家族へのアンケートでは、いつも「県内に医療型短期入所ベッドが少なく、必要な時に短期入所が利用できない。」という意見がトップとなり、特に呼吸器を使用するなど濃厚な医療的ケアを必要とする重症児者を在宅で支えるご家族の負担は非常に大きい現状があります。 千葉県では小児科病棟を有する医療機関における短期入所も全く進んでいませんが、受け入れを促進するためには、他県のように入院時の診療報酬の差額を助成する等の積極的な事業展開が必要であると考えます。		障害福祉事業 課 療育支援班 事業支援班	療育支援 入所・地域		
186	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○重症心身障害児者支援センターの設置について、厚労省が示している重症心身障害児者支援センターを千葉県に設置し、重症心身障害者支援の第三次機関として特に医療的ケアの濃厚な重症心身障害児者への千葉県全体での支援体制を構築していただきたい。 千葉県重症心身障害児者支援センターは、医療的ケアの濃厚な重症児者を受け入れる各施設や市町村をバックアップします。例えば重症児者コーディネーター育成研修を実施後、重症児者コーディネーターを圏域毎等に配置します。重症児者等コーディネーター会議を開催し、重症児者等コーディネーターとの情報交換により、県全体または圏域等における重症児者等の状況を把握し、日常に利用可能な短期入所や療育、日中活動の受け入れ施設等について検討します。重症児者等コーディネーター会議において検討され課題について千葉県、各市町村における重症児者等への施策に反映させることができます。		障害福祉事業 課 療育支援班	療育支援 入所・地域		
187	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○千葉県内に在住する重症心身障害児者の全数実態調査について、千葉県内に在住する重症心身障害児者の全数の実態が把握できていない現状があります。全数実態調査を行うことで、千葉県、市町村、医療教育、福祉関連機関等が、災害時や緊急時に重症心身障害児者に迅速に対応できる支援体制を整備することができます。調査により構築された千葉県、市町村、医療、教育、福祉関連機関等の連携を生かし、重症心身障害児者への継続した支援に繋げるとともに、調査により明らかになった課題を共有し、今後の重症心身障害児者施策を検討するための基礎資料となると考えます。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、（５）障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、①国のモデル事業である小児等在宅医療連携拠点事業（平成25、26年度実施）の成果を活かし、医療、保健、福祉、教育の分野で小児等の在宅支援に関わる人材の育成、医療資源の充実、関係者のネットワークの構築を進めます。 ③重症心身障害の状態にある子どもや強度行動障害のある子どもの在宅支援については、医療的ケアの問題とともに家族の高齢化の問題などもあり、施設入所のニーズが高い状況にあります。こうした中で、医療型障害児入所施設や強度行動障害のある子どもに対応する施設の支援の充実を図るとともに、施設の役割や施設が設置されていない地域における在宅支援の在り方について検討します。		療育支援 入所・地域		○

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	<p>第六次計画位置付の視点</p> <p>①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。</p> <p>②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。</p> <p>③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。</p> <p>④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。</p> <p>①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。</p> <p>(右欄に○を付ける。)</p>	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
188	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○医療的ケア児・重症心身障害児の地域社会における共生の推進について、厚生労働省は障害児へのインクルージョンの推進を謳っていますが、千葉県では軽微な医療的ケアや、肢体不自由に対しても合理的配慮がなされない保育所、学校が数多くあります。 差別条例のある千葉県として、医療的ケア児や重症心身障害児が当たり前に地域社会へ参加できるような、例えば、保育所や学校において、看護師や喀痰吸引のできるヘルパーを加配職員として配置する等、具体的な施策を計画に盛り込んでほしいです。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実、②知的障害、視覚障害、聴覚障害、言語障害、肢体不自由、重度心身障害、発達障害。高次脳機能障害、難病等障害特性に応じて療育支援の在り方が異なることから、必要とされる支援のあり方についての検討を行います。	障害福祉事業 課 療育支援班 特別支援教育 課	療育支援		
189	千葉県重症心身障害 連絡協議会	○国の方針として、地域における医療的ケア児の支援体制の整備として触れているが、重症心身障害児者施設の医療や療育スタッフによるアウトリーチ支援であったり、医療資源を地域で連携できるシステム作りを圏域単位で進めていける体制整備を期待したい。具体的には重症心身障害協会認定看護師、療育に特化したリハビリスタッフ等の支援や教育体制の整備、地域連携との機会の創設など。また、重症心身障害児者と触れ合うことで、放つ光を感じてもらいたいと考えています。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化、③医療的ニーズの高い障害のある子どもを支援するホームヘルパーの養成を進めるため、医療的ケアの研修の充実を検討します。	障害福祉事業 課 療育支援班	療育支援		
190	千葉県重症心身障害 連絡協議会	法改正が行われ福祉、医療、その他関係機関の連携を図る取組を進めることを期待する。		障害福祉事業 課 療育支援班	療育支援		
191	公益社団法人千葉県 肢体不自由児協会	地域の保育所での受け入れが増加しており、車いす用の貸与事業についても保育所からの申し込みが増加している。受入れ側の人材育成及び移動支援従事者への研修が必要である。		障害福祉事業 課 療育支援班、 地域生活支援 班	療育支援		
194	公益社団法人千葉県 肢体不自由児協会	医療的ケアが必要な人の支援について、看護師でなければならない支援のうち、研修を受けることにより福祉関係職員等でも対応できる仕組みを検討してほしい。		障害福祉事業 課 療育支援班	療育支援		
211	植草学園短期大学	○放課後等デイサービス事業所支援の質を担保するための仕組みが必要と思われる。	4障害のある子どもの療育支援体制の充実、(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実、放課後等デイサービスについて、機能の充実を図るとともに、事業の拡充を図ります。	障害福祉事業 課 療育支援班	療育支援		○
218	千葉県中核地域生活 支援センター連絡協 議会	○障害児療育について、現在行われている療育コーディネーターや療育支援事業の役割を整理して拡充すること。子育て支援施策との関係を整理すること。		障害福祉事業 課 療育支援班	療育支援		